

研究奨励交付金（附属研究所重点領域）
報 告 書

令和 4・5 年度採択分
令和 6 年 5 月 29 日作成

研究奨励交付金（附属研究所重点領域）

研究課題名（和文）
子どもの最善の利益のための看護師と保育士の協働と連携に関する研究
研究課題名（英文）
A Study on Collaboration between Nurses and Nursery Teachers
for the Best Interests of the Child

研究代表者
氏 名 杉野 寿子
福岡県立大学 人間社会学部・教授

研究組織

氏 名	所属研究機関・部局・職	役割分担（研究実施計画に対する分担事項）
杉野 寿子	人間社会学部・教授	全体統括、プロジェクト実施、調査分析
田中 美樹	看護学部・准教授	代表者の補助、プロジェクト実施、調査分析
吉川 未桜	看護学部・講師	プロジェクト実施と調査分析
吉田 麻美	人看護学部・助教	プロジェクト実施と調査分析
中原 雄一	人間社会学部・准教授	プロジェクト実施と調査分析
池田 孝博	人間社会学部・教授	プロジェクト実施と調査分析

研究奨励交付金（配分額）

1,984,700円（2ヶ年分）

研究奨励交付金（附属研究所重点領域）

研究成果の概要（当該研究期間のまとめ、できるだけ分かりやすく記述すること。）

- （１） 小児病棟における看護師と保育士の協働と連携
- 全国80ヶ所（看護師2240、保育士168）に対して行った郵送による無記名自記式の「看護師および保育士の専門職連携に関するアンケート調査」結果をもとに、小児病棟における看護師と保育士の協働と連携について、分析を行った。
- ①看護師と保育士それぞれの業務内容の現状分析
- 小児病棟における看護師と保育士の業務については、業務内容の現状について因子分析の結果、10因子が抽出され、職種間で因子構造に差がみられたものもあった。因子間分析では、日常生活援助や病棟生活支援業務が相談業務、遊び支援やプレパレーション等の実施に影響していることが分かった。日常生活支援と遊び支援において、職種間による傾向や遊びの捉え方の差が明確となった。また、看護師の補助的役割を担っている保育士ほど、本来の専門性を活か

した子どもとの関わりの実施ができていない状況にあり、お互いの専門性の理解の必要性が示唆された。

②看護師と保育士の連携・協働の現状分析

看護師と保育士の協働の困難は両者ともに感じているが、より保育士の困難感の方が多く感じていることが明らかとなった。両者の間の協働の認識には大きなズレがあり、保育士が保育よりも病棟業務や看護業務の補助を担っているのに対し、保育には看護からの協働がほとんどないなど、看護師-保育士間の協働での相互性・対等性に偏りがあった。異なる専門職として「対等」「互いに」協働する風土は十分でないと考えられた。また、看護師に、入院中の子ども達に対する病棟保育を担う保育士の役割・遊びの重要性についての理解不足や、保育士の専門性や存在の意味に対する認識不足、異なる専門職として協働するにあたっての情報共有不足があることが示された。両者が互いに尊重し合い、対等な立場で、子どもの最善の利益のために協働する風土の醸成が必要である。

③新型コロナウイルス感染拡大による影響

上記①②と同じ調査結果を用いて、新型コロナウイルス感染拡大による様々な制限を余儀なくされた小児病棟において、入院中の子どもたちの生活を守る上での困難感に関する自由記述について、質的データ分析ソフトMAXQDA2022を用い分析した。その結果、「面会」「制限」「プレイルーム」「こども・患児」「家族・きょうだい」「ストレス」「さみしさ」など16カテゴリーが抽出された。感染予防のための面会やプレイルーム使用などの「制限」が、子どもの入院環境や精神面に影響し、「ストレス」や「さみしさ」につながっていることが示された。このような制限下で、看護師や保育士はそれぞれの専門的な立場から、面会方法や遊びの工夫などを試行錯誤しながら、子どもの入院生活を支え、子ども権利擁護や家族支援に努めていることが分かった。

(2) 入院中の子どもの権利と家族のQOLに関する課題

入院経験のある子どもの保護者2名へのインタビュー調査を行った。インタビューによる具体的な回答内容から、4つのカテゴリー【付き添い家族の院内生活と影響】【入院中の子どもの生活と影響】【家族や周囲への影響】【病院への苦情・要望の関連によるストレス】を見出すことができた。入院中の子どもは極端に制限のある生活により子どもの権利擁護の面で課題が大きいことが示唆され、付き添い家族にとっても心身にストレスのかかる大きな負担が生じていることが明らかとなった。子どもの育つ権利に大きく関連している課題が多いことに加え、「病院のこども憲章」に即していない状況が明らかとなった。

(3) 本学看護コースとこどもコースの学生の共同実践

専門職連携教育の一環として、人間社会学部こどもコース学生と看護学部学生共同で、幼稚園等で「幼児への健康教育プログラム」を実践する予定であったが、2022年度も引き続き、新型コロナウイルスの感染状況の影響により幼稚園等への訪問・実践ができなかった。そのため、本学の看護師および保育士のそれぞれの養成課程に所属する学生による「絵本プロジェクト」を立ち上げ、互いの専門性を発揮し協働しながら、入院中の子どもが治療や検査等を乗り越える準備のための絵本（子ども向け医療絵本）を制作し、2024年3月に2冊の絵本が完成した（3冊目は試作品の校閲中である）。

絵本製作終了後に、プロジェクトに参加した学生への効果を分析するためアンケート調査を実施しており、職種間の協働や連携における効果の分析結果を公表する予定である。

研究分野／キーワード

医療保育学／ 子どもの権利、子ども最善の利益、保育士、看護師、協働、専門職連携、絵本

1. 研究開始当初の背景

日本では、医療の現場で子どもの人権が軽視されがちであるといわれ、そのことについて指摘する文献や先行研究は多くある。西村(2008)は、諸外国の現状と比べて、医療行為全般における「子どもの権利」に対する配慮が希薄であると指摘し、その現状についていくつかの問題点を挙げている。

高橋(2016)は、小児病棟で働く看護師は、対象が子どもであるということから、多くの役割を負い過酷な労働環境の中で、どうにか子どもの権利擁護を実践しようと努力しているが、看護師を取り巻くものとの相互作用の中で思い悩んでいると論じるいくつかの先行研究を紹介している。

日本が1994年に「子どもの権利条約」に批准してからもうすぐ30年を迎えようとしているが、医療の領域だけでなくあらゆる場面で子どもの権利が尊重されていない現実がある。近年ではそのことを軽視せず、子どもの声を聞き、子どもを主体としてとらえ、子どもが自己の見解を表明し社会に参画していくことを重要視し強調する動きがようやく始まったといえよう。しかしながら、医療の場面でのこのような改革はどれほど進んでいこうとしているのか疑問である。

本研究は、小児医療(看護)の場面において、子どもの最善の利益を追求したケアを行っていくためには子どもにとって最も身近で直接的に関わる看護師と保育士の存在が大きいことに着目し、看護師と保育士が協働・連携することによって、医療現場における子どもの最善の利益を尊重した実践につなげていこうとするものである。全人的なケアを専門とする看護師と保育士は、具体的な専門は異なるものの基礎にある倫理観は共通する。両者のそれぞれのストレンクス(強み)を生かした連携を検討していく。

また、現場での連携をスムーズに行うためには、看護師および保育士のそれぞれの養成課程において、互いの専門性を尊重し、「子ども」や「健康・医療」に向けるまなざしを共有していく機会を設けることも必要であろう。本学の看護師および保育士養成において教育的意義のある研究をすることで、卒業後に現場で活躍していく両専門職同士が、具体的に職種間連携を築いていけることに寄与したい。

2. 研究の目的

本研究の目的は、申請者らがこれまで蓄積した研究結果に基づいて、さらに両職種の協働についての課題点を整理し、連携について模索することである。また、両学部の学生による協働実践として、健康・医療に関する絵本を作成し、職種間の協働や連携がどのような経験や学びにつながるのかを検討する。また、完成した絵本は近隣の医療機関等に見てもらい、意見等を聞き取り、現場のニーズにも反映していく。

3. 研究の方法

(令和4年度)

1. 研究計画・方法

(1)小児病棟における看護師と保育士の協働と連携についての調査と分析

①前年度までの調査結果の分析を継続して行い、さらに両職種の協働について課題点を整理する。

・令和3年に実施したアンケート調査のうち、協働と連携、子どもの権利について自由記述で回答した部分の分析を行う。

②小児病棟の看護師と保育士にインタビュー調査を実施するための準備を行う。

・アンケート調査では得られない具体的内容について、県内及び近隣の小児病棟に勤務する看護師と保育士にインタビュー調査を令和5年に行うこととし、その準備と調整を行う。

(2) 入院中の子どもの権利と家族のQOLに関する課題

令和3年に実施した保護者へのインタビューにおいて示された、子どもと付き添い家族のQOLの課題や「病院のこども憲章」との観点より、看護師と保育士の協働と連携について分析・考察を行う。

(3) 本学看護コースとこどもコースの学生の共同実践

両学部学生間での討議を通して、幼稚園等での幼児への健康教育プログラムの実践等を行い、互いの専門性や連携などについて考察する。学生が主体となり企画・実践・討議することを重視したプログラムとする。新型コロナウイルスの感染状況に応じた方法を模索しながら準備を行う。

(令和5年度)

(1) 小児病棟における看護師と保育士の協働・連携についての調査と分析

①前年度に分析した内容や先行事例をもとに、協働モデルの提示を行う。

②令和3年の調査で協力を得た小児病棟の看護師と保育士にインタビュー調査を実施する。

・アンケート調査では得られない具体的内容について、県内及び近隣の小児病棟に勤務する看護師と保育士にインタビュー調査を行い、質的分析を行う。

(2) 入院中の子どもの権利と家族のQOLに関する課題

保護者へのインタビュー調査と、(1)との関連を検討する。

(3) 本学看護コースとこどもコースの学生の共同実践

前年同様、幼児への健康教育プログラムの実践等を行い、両学部学生間での討議を通して、互いの専門性や連携などについて考察する。学生が主体となり企画・実践・討議することを重視したプログラムとする。新型コロナウイルスの感染状況に応じた方法を模索しながら準備を行う。

※令和5年度はまだコロナの影響で、病院でのインタビュー調査や幼稚園での健康教育プログラム実施が難しかった。そのため、令和4年度途中から計画を「絵本プロジェクト」に変更した。

専門職連携教育の一環として本学看護学部とこどもコースの学生による健康・医療・保健に関する絵本を制作する。製本後は、県内の医療機関や幼稚園・保育所等に配布し、各機関へ絵本の効果等について聞き取りを行う。絵本プロジェクト終了後には、プロジェクト参加学生の意識を調査し、今後の専門職連携の検討を行う。

【倫理的配慮】

(1) 絵本プロジェクトへの協力学生には、有償ボランティアとして参加してもらい、趣旨や倫理的配慮について説明している（参加は強制ではなく、いつでも辞退してよいこと、辞退することで不利益はないこと、授業外の活動であるため成績評価とはいっさい関係がないこと等）。

(2) 絵本を配布した各機関や学生への調査については、人間社会学研究科研究倫理部会へ研究倫理審査の申請を行い、承認を得たのち実施した。

4. 研究の主な成果

(1) 小児病棟における看護師と保育士の協働と連携についての調査と分析

2021年度に全国80ヶ所（看護師2240、保育士168）に対して行った郵送による無記名自記式の「保育士および看護師の専門職連携に関するアンケート調査」結果を引き続き分析した。なお、本研究は、本学研究倫理部会の審査で承認を得たのちに調査を実施した。以下、①～③の調査対象者はすべて同じであり、回答者は、看護師427名（回収率19.1%）、保育士76（回収率45.2%）である。統計解析ソフトは、SPSS Ver. 26を用いた。対象者の属性の詳細は、昨年度報告および紀要に掲載しているものを参照されたい。

① 保育士と看護師それぞれの業務内容の現状分析

看護師と保育士それぞれの業務内容の分析を行い、子どもの入院生活を支えるためのそれぞれの職種による傾向を考察した。結果、小児病棟で子どもの生活を支える49項目の業務中、「プレイルーム整備」「読み聞かせ」など17項目で保育士の方が有意に多く実施していた（ $p<0.001$ ）。「検査介助」「トイレサポート」など21項目で看護師が有意に多く実施していた（ $p<0.001$ ）。「家族の話し相手」「発達相談」などの8項目は職種間に差は見られなかった（表1）。

業務に関して看護師の因子分析および因子間相関の分析を行った結果、看護師業務は10因子抽出された（表2）。看護師業務10因子の因子間相関では、『日常生活援助』を行っている看護師ほど『相談業務』（ $r=.433$ ）、『病棟生活支援』（ $r=.603$ ）、『プレパレーション』（ $r=.43$ ）、『介助業務』（ $r=.51$ ）を行っていた。また、『相談業務』を行っている看護師ほど、『プレパレーション』（ $r=.488$ ）『家族支援・院外連携』（ $r=.471$ ）を行っていた。さらに、『プレパレーション』を行っている看護師ほど、『介助業務』を行っていた（ $r=.52$ ）。

同様に、業務に関して保育士の因子分析および因子間相関の分析を行った結果、保育士業務も10因子抽出された（表3）。保育士業務10因子の因子間相関では、保育士は『日常生活支援』を行っているほど『病棟業務』（ $r=.463$ ）を行っていた。また、『スキンシップ』を行っているほど、『遊び支援』（ $r=.441$ ）を行っていた。一方、『病棟生活支援』を行っている保育士ほど『行事等運営』を行っていなかった（ $r=-.445$ ）。

表1. 病棟で行う業務の看護師と保育士の比較

項目	職種	N	M	SD	SE	t値	df	p
1 プレイルーム整備	看護師	423	3.7	3.23	0.16	-14.6	497	***
	保育士	76	9.3	1.87	0.22			
2 玩具洗浄	看護師	422	3.7	3.46	0.17	-14.5	496	***
	保育士	76	9.5	0.99	0.11			
3 絵本貸出	看護師	423	5.4	3.33	0.16	-10.8	497	***
	保育士	76	9.6	0.99	0.11			
4 読み聞かせ	看護師	421	2.1	2.71	0.13	-18.3	495	***
	保育士	76	8.1	1.95	0.22			
5 製作遊び	看護師	424	1.8	2.61	0.13	-17.7	497	***
	保育士	75	7.5	2.32	0.27			
6 工作	看護師	424	1.9	2.64	0.13	-17.7	497	***
	保育士	75	7.7	2.26	0.26			
7 音楽遊び	看護師	423	1.8	2.64	0.13	-13.0	496	***
	保育士	75	6.2	2.79	0.32			
8 運動遊び	看護師	424	1.1	2.21	0.11	-7.2	495	***
	保育士	73	3.3	2.97	0.35			
9 壁面装飾	看護師	424	2.0	3.05	0.15	-18.3	498	***
	保育士	76	8.7	2.31	0.26			
10 行事企画	看護師	424	5.0	3.22	0.16	-10.5	498	***
	保育士	76	9.0	1.80	0.21			
11 集団活動支援	看護師	423	2.6	2.90	0.14	-8.6	496	***
	保育士	75	5.9	3.59	0.41			
12 ゲーム遊び	看護師	421	4.0	3.12	0.15	-12.8	494	***
	保育士	75	8.8	1.93	0.22			
13 患児預かり	看護師	423	7.4	2.40	0.12	-7.9	496	***
	保育士	75	9.7	0.74	0.09			
14 きょうだい預かり	看護師	424	1.5	2.76	0.13	-6.7	498	***
	保育士	76	3.9	3.68	0.42			
15 ボランティア調整	看護師	424	2.0	3.00	0.15	-7.1	497	***
	保育士	75	4.8	4.13	0.48			
16 スキンシップ	看護師	424	8.4	1.99	0.10	-5.2	498	***
	保育士	76	9.6	0.93	0.11			
17 話し相手	看護師	425	8.2	1.85	0.09	-5.2	499	***
	保育士	76	9.4	1.12	0.13			
18 相談相手	看護師	424	7.2	2.55	0.12	-2.1	497	*
	保育士	75	7.9	2.35	0.27			
19 学習支援	看護師	423	4.3	3.18	0.16	-1.9	497	ns
	保育士	76	5.0	3.26	0.37			
20 家族の話し相手	看護師	423	8.1	2.04	0.10	-1.0	497	ns
	保育士	76	8.4	1.67	0.19			
21 家族への連絡	看護師	425	8.7	1.77	0.09	0.0	499	ns
	保育士	76	8.7	1.85	0.21			
22 発達相談	看護師	425	7.1	2.40	0.12	-0.9	499	ns
	保育士	76	7.3	2.32	0.27			
23 病気治療相談	看護師	423	8.0	2.05	0.10	9.2	496	***
	保育士	75	5.4	2.94	0.34			
24 保護者間連携	看護師	425	3.3	3.04	0.15	-2.2	499	*
	保育士	76	4.2	3.35	0.38			
25 きょうだい支援	看護師	424	3.1	2.976	0.145	-1.2	498	ns
	保育士	76	3.5	3.177	0.364			

26 調乳	看護師	425	6.2	3.525	0.171	8.8	499	***
	保育士	76	2.3	3.52	0.404			
27 授乳	看護師	421	6.5	3.471	0.169	1.7	494	ns
	保育士	75	5.8	3.537	0.408			
28 配膳など	看護師	425	8.6	2.198	0.107	5.7	499	***
	保育士	76	6.8	3.683	0.422			
29 食事介助	看護師	423	6.6	3.294	0.16	0.8	497	ns
	保育士	76	6.2	3.511	0.403			
30 おむつ交換	看護師	425	7.7	2.713	0.132	2.8	499	**
	保育士	76	6.8	3.132	0.359			
31 トイレサポート	看護師	425	7.5	2.763	0.134	3.7	499	***
	保育士	76	6.2	3.141	0.36			
32 歯磨き洗顔	看護師	423	6.8	3.037	0.148	5.5	497	***
	保育士	76	4.6	3.964	0.455			
33 衣服着脱	看護師	424	8.6	2.16	0.105	10.9	497	***
	保育士	75	5.4	3.279	0.379			
34 清拭・点滴なし	看護師	425	8.2	2.713	0.132	19.4	499	***
	保育士	76	1.6	3.017	0.346			
35 清拭・点滴有	看護師	424	9.3	1.919	0.093	32.7	498	***
	保育士	76	1.0	2.587	0.297			
36 沐浴	看護師	424	8.5	2.433	0.118	22.5	498	***
	保育士	76	1.4	2.881	0.331			
37 入浴	看護師	425	7.6	3.043	0.148	16.6	499	***
	保育士	76	1.4	2.888	0.331			
38 規則説明	看護師	425	9.1	2.033	0.099	22.2	499	***
	保育士	76	2.8	3.488	0.4			
39 散歩付き添い	看護師	425	5.4	3.28	0.159	1.7	499	ns
	保育士	76	4.7	3.678	0.422			
40 リハビリ検査送迎	看護師	425	7.8	2.757	0.134	15.5	499	***
	保育士	76	2.3	3.214	0.369			
41 測定検査ディストラクション (測定検査時の子どもの気をそらす支援)	看護師	424	7.6	2.638	0.128	11.6	498	***
	保育士	76	3.5	3.679	0.422			
42 測定介助	看護師	422	8.3	2.629	0.128	17.3	496	***
	保育士	76	2.5	3	0.344			
43 検査介助	看護師	420	8.5	2.546	0.124	19.3	494	***
	保育士	76	2.2	2.892	0.332			
44 疾患プレパレーション (発達段階に合わせた疾患に対する心の準備への支援)	看護師	423	5.8	3.289	0.16	8.5	496	***
	保育士	75	2.3	3.247	0.375			
45 治療プレパレーション (発達段階に合わせた治療に対する心の準備への支援)	看護師	423	6.2	3.255	0.158	9.6	496	***
	保育士	75	2.3	3.295	0.381			
46 検査プレパレーション (発達段階に合わせた検査に対する心の準備への支援)	看護師	420	6.6	3.065	0.15	9.4	493	***
	保育士	75	2.9	3.63	0.419			
47 シーツ交換	看護師	425	8.1	2.393	0.116	16.6	499	***
	保育士	76	2.8	3.423	0.393			
48 医療機器洗浄	看護師	425	5.5	3.581	0.174	11.1	499	***
	保育士	76	0.8	2.347	0.269			
49 与薬	看護師	425	8.6	2.389	0.116	27.4	499	***
	保育士	76	0.7	1.879	0.216			

註) ***: $p < 0.001$, **: $p < 0.01$, *: $p < 0.05$, ns: $p \geq 0.05$

表2. 看護師業務の因子構造と因子間相関

	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	
	日常生活支援	遊び支援	相談業務	病棟生活支援	プレベレー ション	家族支援・ 院外連携	介助業務	病棟業務	保育環境整備	スキンシップ	共通性
項目の要約	$\alpha=0.892$	$\alpha=0.884$	$\alpha=0.880$	$\alpha=0.882$	$\alpha=0.943$	$\alpha=0.611$	$\alpha=0.881$	$\alpha=0.623$	$\alpha=0.829$	$\alpha=0.497$	
おむつ交換	0.872	-0.063	-0.011	0.068	-0.089	0.011	0.000	-0.021	-0.031	0.012	0.687
食事介助	0.863	-0.010	0.004	-0.092	0.001	0.033	-0.021	0.038	-0.004	-0.047	0.790
歯磨き洗顔	0.849	0.006	-0.051	-0.056	0.031	0.088	0.063	0.011	0.027	0.011	0.415
トイレサポート	0.736	-0.060	0.030	0.027	0.063	-0.023	-0.008	0.056	0.054	0.081	0.604
授乳	0.675	0.108	0.093	-0.031	0.009	0.016	0.053	-0.142	-0.117	-0.001	0.859
入浴	0.547	-0.026	-0.056	0.355	-0.032	-0.039	0.042	-0.107	0.146	0.000	0.758
調乳	0.473	0.081	0.137	-0.078	-0.012	-0.039	-0.007	0.192	-0.036	-0.044	0.617
散歩付き添い	0.457	0.090	-0.019	0.041	0.102	0.096	-0.111	0.075	-0.017	0.043	0.376
製作遊び	0.001	0.973	0.024	0.000	-0.048	-0.060	0.003	0.004	-0.036	-0.071	0.497
工作	-0.080	0.899	-0.005	-0.017	-0.055	0.006	0.028	0.068	-0.053	-0.026	0.330
音楽遊び	0.043	0.793	-0.047	-0.004	0.015	0.036	0.031	-0.010	-0.050	-0.006	0.389
読み聞かせ	0.094	0.735	0.003	-0.039	0.001	-0.040	0.099	-0.046	0.121	-0.017	0.508
運動遊び	0.164	0.555	-0.133	-0.009	0.034	0.049	0.044	-0.065	0.000	0.046	0.457
壁面装飾	-0.108	0.546	0.008	0.026	-0.092	0.069	-0.063	0.013	0.244	0.022	0.182
ゲーム遊び	-0.021	0.431	-0.039	0.069	0.122	0.047	-0.007	0.007	0.204	0.268	0.331
家族の話し相手	-0.070	-0.037	0.853	0.004	-0.096	-0.073	0.051	0.070	-0.001	0.186	0.651
病氣治療相談	-0.054	-0.082	0.794	0.097	0.001	0.080	0.116	-0.029	0.015	-0.075	0.765
発達相談	0.119	-0.038	0.740	-0.033	0.006	0.110	-0.039	0.066	0.125	-0.107	0.577
家族への連絡	0.065	0.017	0.654	-0.009	0.042	-0.114	0.077	-0.135	0.041	0.154	0.377
話し相手	-0.011	0.029	0.522	-0.014	0.017	-0.117	-0.138	0.027	-0.103	0.644	0.745
相談相手	0.071	0.044	0.477	-0.086	0.082	0.017	0.018	0.029	-0.032	0.339	0.534
清拭・点滴有	-0.154	-0.019	-0.014	0.966	0.035	0.023	-0.024	0.060	-0.067	0.077	0.678
沐浴	0.276	0.003	-0.018	0.772	-0.020	-0.059	-0.058	-0.116	0.046	0.006	0.754
清拭・点滴なし	0.250	0.118	0.085	0.679	0.019	-0.102	-0.168	-0.014	-0.015	-0.025	0.408
規則説明	-0.119	-0.083	0.093	0.521	0.050	0.108	0.108	0.157	-0.043	-0.165	0.485
衣服着脱	0.277	-0.012	-0.011	0.518	-0.094	-0.030	0.053	0.144	0.012	0.059	0.312
与薬	0.247	-0.013	-0.080	0.400	0.083	-0.018	0.175	0.045	-0.105	0.026	0.518
治療プリパレーション	-0.003	-0.014	-0.011	0.017	0.997	-0.048	-0.032	0.006	0.032	-0.054	0.465
検査プリパレーション	-0.061	-0.042	-0.013	0.015	0.910	-0.007	0.015	0.040	-0.022	0.040	0.648
疾患プリパレーション	0.063	-0.004	0.020	0.019	0.882	-0.010	-0.009	-0.039	-0.010	-0.067	0.759
ボランティア調整	0.123	-0.035	-0.125	-0.102	-0.105	0.604	0.061	-0.057	0.038	0.021	0.708
きょうだい支援	-0.013	0.041	0.201	0.122	0.080	0.573	-0.119	-0.045	-0.071	-0.086	0.780
保護者間連携	0.130	0.044	0.137	-0.011	-0.011	0.563	-0.015	-0.015	-0.101	-0.152	0.621
きょうだい預かり	-0.076	-0.021	-0.106	0.000	-0.038	0.467	-0.119	0.164	-0.105	0.059	0.596
測定介助	0.059	0.062	0.115	0.024	-0.036	-0.063	0.925	-0.039	-0.031	-0.055	0.843
検査介助	-0.028	0.038	-0.011	0.164	0.006	-0.025	0.827	0.055	-0.079	-0.051	0.768
測定検査ディストラクション	0.027	-0.038	0.024	-0.038	0.355	-0.045	0.452	0.055	0.051	0.081	0.615
シーツ交換	-0.057	0.044	-0.085	0.437	-0.043	0.043	0.038	0.555	-0.020	-0.018	0.472
医療機器洗浄	-0.010	0.046	0.068	0.067	0.112	0.007	0.019	0.483	0.128	-0.065	0.332
配膳など	0.421	-0.117	-0.029	0.034	-0.118	0.025	-0.027	0.450	0.024	0.060	0.433
玩具洗浄	0.058	0.385	0.028	-0.070	0.067	-0.171	-0.126	0.138	0.704	-0.106	0.567
プレイルーム整備	-0.048	0.380	-0.047	-0.036	0.066	-0.042	-0.017	-0.019	0.637	-0.044	0.902
絵本貸出	0.003	0.356	0.121	0.037	-0.064	-0.076	-0.018	0.092	0.422	0.006	0.855
スキンシップ	0.052	-0.002	0.295	0.068	0.009	-0.037	-0.038	-0.076	-0.078	0.670	0.796
患児預かり	0.040	0.020	0.062	-0.098	-0.186	0.098	0.066	0.044	0.333	0.430	0.908
集団活動支援	-0.030	0.121	-0.105	0.032	0.109	0.365	0.047	-0.054	0.201	0.211	0.829
行事企画	-0.224	0.246	0.093	0.130	-0.109	0.190	0.090	-0.132	0.260	0.183	0.582
学習支援	0.076	0.107	0.111	-0.078	0.167	0.255	-0.033	0.180	0.006	0.137	0.355
リハビリ検査送迎	0.029	-0.023	-0.046	0.320	0.012	0.000	0.280	0.183	0.065	0.027	0.558
合計	12.462	6.376	2.759	1.993	1.379	1.009	0.931	0.741	0.715	0.634	28.996
因子負荷量平方和 (%)	25.4	13.0	5.6	4.1	2.8	2.1	1.9	1.5	1.5	1.3	59.2
累積寄与率 (%)	25.4	38.4	44.1	48.1	51.0	53.0	54.9	56.4	57.9	59.2	
因子相関行列											
I 日常生活支援	1.000	0.106	0.433	0.603	0.430	0.293	0.510	0.298	0.102	0.389	
II 遊び支援		1.000	0.104	-0.150	0.109	0.303	-0.152	0.048	0.347	0.285	
III 相談業務			1.000	0.328	0.488	0.471	0.364	0.224	0.024	0.339	
IV 病棟支援				1.000	0.393	0.125	0.613	0.324	-0.010	0.159	
V プリパレーション					1.000	0.382	0.520	0.312	0.004	0.249	
VI 家族支援・院外連携						1.000	0.211	0.082	0.240	0.301	
VII 介助業務							1.000	0.415	0.038	0.232	
VIII 病棟生活支援								1.000	0.054	0.285	
IX 保育環境整備									1.000	0.234	
X スキンシップ										1.000	

* 因子抽出法:主因子法

回転法:Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

表3. 保育士業務の因子構造と因子間相関

	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	
	日常生活支 援	病棟生活支 援	相談業務	プリバレー ション	スキンシッ プ	遊び支援	行事等運営	介助	保育環境整 備・ボラン ティア調整	病棟業務	共通性
項目の要約	$\alpha=0.919$	$\alpha=0.868$	$\alpha=0.816$	$\alpha=0.898$	$\alpha=0.717$	$\alpha=0.943$	$\alpha=0.684$	$\alpha=0.778$	$\alpha=0.469$	$\alpha=0.280$	
歯磨き洗顔	0.900	-0.065	0.035	0.065	-0.001	-0.055	-0.007	-0.120	0.047	0.218	0.512
衣服着脱	0.881	0.136	0.003	0.109	0.096	-0.049	0.023	-0.011	-0.124	-0.049	0.846
おもつ交換	0.843	-0.051	-0.184	-0.036	-0.055	0.117	-0.126	-0.070	-0.042	-0.161	0.534
トイレサポート	0.750	0.053	-0.022	0.029	0.191	0.110	-0.109	-0.077	0.024	0.016	0.596
食事介助	0.716	-0.096	-0.055	-0.074	-0.012	0.104	-0.025	0.182	0.092	0.212	0.841
授乳	0.622	-0.086	0.008	-0.005	0.010	-0.024	0.143	0.167	-0.123	0.060	0.802
沐浴	-0.083	1.020	-0.081	-0.052	-0.127	0.126	0.292	0.146	0.029	-0.031	0.670
清拭・点滴なし	-0.101	0.944	-0.083	-0.005	0.054	0.051	0.037	0.024	0.084	-0.002	0.605
入浴	0.067	0.876	0.248	-0.090	-0.076	-0.068	0.201	-0.049	-0.058	-0.046	0.618
清拭・点滴有	-0.049	0.775	-0.094	0.019	0.359	-0.183	-0.094	0.038	0.101	-0.218	0.844
与薬	0.144	0.578	0.236	-0.097	0.082	-0.135	-0.229	-0.022	0.108	-0.067	0.716
調乳	0.329	0.437	-0.123	-0.131	0.037	0.157	-0.064	0.089	-0.190	0.098	0.543
医療機器洗浄	0.053	0.413	-0.041	0.145	-0.103	0.112	-0.435	-0.309	0.019	0.163	0.615
病気治療相談	-0.115	0.208	0.813	0.100	-0.043	-0.005	0.035	-0.155	-0.063	0.074	0.600
保護者間連携	-0.267	0.002	0.796	-0.175	0.015	-0.176	-0.022	-0.003	0.129	0.030	0.627
きょうだい支援	0.067	0.040	0.679	0.110	-0.116	0.089	-0.027	-0.088	-0.113	-0.047	0.731
発達相談	0.076	-0.060	0.675	0.103	0.197	0.000	-0.103	0.026	-0.071	-0.210	0.665
集団活動支援	0.083	-0.029	0.549	0.012	0.019	-0.176	0.187	0.115	0.262	-0.101	0.717
家族への連絡	0.162	-0.145	0.412	-0.105	0.406	-0.074	-0.059	-0.068	-0.088	0.034	0.593
散歩付き添い	0.124	0.078	0.408	-0.215	-0.196	0.205	-0.187	0.321	-0.040	0.178	0.586
治療プレバレーション	-0.044	0.034	-0.008	1.015	-0.060	0.110	0.110	-0.073	-0.081	-0.104	0.644
検査プレバレーション	0.040	-0.081	0.087	0.976	-0.006	-0.076	0.063	0.048	-0.038	-0.143	0.540
疾患プレバレーション	0.045	-0.086	-0.019	0.901	0.021	-0.012	0.042	-0.044	-0.181	-0.066	0.757
測定検査ディストラクション	0.065	-0.042	-0.191	0.556	0.035	0.042	0.042	0.477	0.095	-0.098	0.679
スキンシップ	0.102	0.193	0.013	-0.033	0.835	-0.110	0.259	-0.070	-0.036	-0.090	0.736
話し相手	0.025	-0.020	0.126	0.172	0.755	-0.078	0.042	0.149	0.063	-0.079	0.523
患児預かり	0.196	0.025	-0.154	-0.316	0.561	-0.151	0.105	-0.066	-0.137	0.118	0.675
製作遊び	0.130	-0.031	-0.024	0.014	-0.187	0.969	0.038	-0.073	-0.011	-0.157	0.711
工作	0.012	0.002	-0.059	0.013	0.042	0.878	0.101	0.050	0.044	-0.167	0.849
行事企画	0.027	0.238	-0.015	0.144	0.241	0.001	0.946	-0.099	0.167	0.122	0.754
壁面装飾	-0.330	-0.037	-0.098	0.097	0.206	0.246	0.616	-0.041	-0.246	0.322	0.764
読み聞かせ	0.211	-0.017	0.029	0.008	0.025	0.294	0.498	-0.127	0.084	0.126	0.889
測定介助	-0.014	0.043	-0.057	-0.010	0.018	-0.034	-0.034	0.907	-0.172	-0.070	0.831
検査介助	0.012	0.177	0.152	0.093	0.087	-0.045	-0.153	0.508	-0.065	0.148	0.840
プレイルーム整備	-0.074	0.103	0.018	-0.156	-0.028	-0.012	0.052	-0.197	0.736	0.138	0.742
ボランティア調整	-0.018	0.094	0.314	-0.096	-0.085	0.059	0.120	0.045	0.595	-0.165	0.923
玩具洗浄	-0.004	-0.092	-0.269	0.015	0.396	0.066	-0.056	-0.090	0.557	0.072	0.720
配膳など	0.148	-0.121	-0.028	-0.244	-0.006	-0.166	0.207	-0.027	0.064	0.953	0.537
規則説明	0.058	0.032	0.118	0.325	-0.180	-0.234	0.055	-0.085	0.160	0.407	0.606
きょうだい預かり	-0.055	0.244	-0.039	-0.027	0.026	0.439	-0.137	0.048	0.104	0.007	0.687
音楽遊び	-0.035	0.010	0.065	0.050	0.141	0.271	-0.050	0.072	0.073	-0.297	0.710
運動遊び	-0.013	0.085	0.172	-0.055	-0.016	-0.010	0.006	0.245	-0.174	-0.085	0.802
ゲーム遊び	0.214	0.007	0.188	0.136	0.342	0.159	0.237	-0.033	-0.097	-0.049	0.740
絵本貸出	-0.051	-0.059	-0.097	-0.215	0.383	0.115	0.189	0.129	0.067	0.164	0.740
リハビリ検査送迎	-0.098	0.252	0.027	0.190	0.079	-0.107	-0.123	0.307	-0.064	0.385	0.895
家族の話し相手	-0.210	-0.216	0.375	-0.024	0.354	0.211	-0.081	0.055	-0.139	0.148	0.881
シーツ交換	0.150	0.152	-0.256	0.178	-0.087	-0.360	-0.016	0.120	0.016	0.383	0.693
相談相手	-0.029	-0.082	0.343	0.161	0.205	0.251	-0.028	-0.077	0.270	0.209	0.726
学習支援	0.259	-0.102	0.339	-0.016	-0.086	0.187	0.119	0.134	0.155	0.248	0.584
合計	8.823	6.882	4.187	3.148	2.106	1.698	1.601	1.268	1.172	1.033	34.439
因子負荷量平方和 (%)	18.0	14.0	8.5	6.4	4.3	3.5	3.3	2.6	2.4	2.1	65.1
累積寄与率 (%)	18.0	32.1	40.6	47.0	51.3	54.8	58.0	60.6	63.0	65.1	
因子相関行列											
I 日常生活支援	1.000	0.184	0.111	0.164	0.353	0.201	-0.037	0.340	0.059	0.463	
II 病棟生活支援		1.000	-0.137	0.158	-0.119	-0.281	-0.445	0.266	-0.016	0.334	
III 相談業務			1.000	0.126	0.152	0.440	0.172	0.303	0.258	0.083	
IV プリバレーション				1.000	0.046	0.107	-0.213	0.288	0.193	0.315	
V スキンシップ					1.000	0.441	0.105	0.130	0.233	0.286	
VI 遊び支援						1.000	0.199	0.157	0.201	0.179	
VII 行事等運営							1.000	-0.137	0.016	-0.347	
VIII 介助								1.000	0.114	0.337	
IX 保育環境整備・ボランティア調整									1.000	0.033	
X 病棟業務										1.000	

* 因子抽出法:主因子法 回転法:Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

② 看護師と保育士の連携・協働の現状分析

本研究は、看護師と保育士の協働の現状を分析して課題を明らかにし、今後の協働に向けた示唆を得ることを目的とした。看護師と保育士の協働の因子分析および因子相関は、表4に示す通りで、子どもとの関わりや安全など「F1 子どもへの関わりの意思統一」が最も因子寄与率の高い、第一因子として抽出された。一方、保育への協働因子と考えられる「F4 保育の意思尊重」「F5 保育士のカルテ活用」「F6 行事・環境づくり」などは因子寄与率が低く示された。また、協働の因子間相関では、「F1 子どもへの関わりの意思統一」は、「F3 積極的な多職種連携」「F4 保育の意思尊重」「F6 行事・環境づくり」と相関するなど、因子間に有意な相関が複数見られた。子どもを中心に協働する体制や認識の土台があるほど、保育や行事・環境づくりに関わる協働と相関があるという結果であった。

また、看護師と保育士の協働に対する認識の差を分析したところ、「F3 積極的な多職種連携」以外すべてに有意差が認められた(図1)。看護師は「子どもへの関りの意思統一」、「保育の尊重」、「行事・環境づくり」、「ブレパレーションのさらなる相互参画の必要性」について協働していると認識していたが、保育士は協働していないと認識していた。一方、保育士は「保育士のカンファレンスの積極参加」、「保育士のカルテ活用」について協働していると認識していたが、看護師は協働している認識は高くないという結果であり、両者の協働に対する認識のズレが示された。

協働の困難は、看護師56%、保育士は84%があると回答した(図2、図3)。困難の内容は、看護師・保育士ともに「忙しすぎる」「リアルタイムな情報共有ができない」ことが多くあがり、保育士では「孤独感がある」「保育士の業務を理解してもらえない」「看護師が子どもの遊びや子どもらしい生活の確保について積極的でない」なども表出さた(図4、図5)。

これらから、本研究では、協働の困難感は看護師・保育士共に感じており、協働に対する両者の認識のズレが明らかとなった。また、保育士が保育よりも病棟業務や看護業務の補助を担っているのに対し、保育には看護からの協働がほとんどないなど、看護師-保育士間の協働での相互性・対等性に偏りがあった。看護師が、保育士を看護師の役割補完的人材として認識している可能性があり、未だに異なる専門職として「対等」「互いに」協働する風土は十分でないと考えられた。さらに、看護師に、入院中の子ども達に対する病棟保育を担う保育士の役割・遊びの重要性についての理解不足や、保育士の専門性や存在の意味に対する認識不足、異なる専門職として協働するにあたっての情報共有不足があることが示されており、保育士の孤独感や存在意義の曖昧さなど保育士の辛さを増す危惧がある。より対等な立場で互いに尊重し、子どもに最もよいことのために協働できる風土の醸成が求められると考える。

表4. 看護師と保育士の協働の因子分析および因子間相関

質問項目	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	共通性
<F1 子どもへの関わりの意思統一> $\alpha=0.908***$								
14 保育士と看護師は、子どもへの関わりを一緒に考えている	1.025	0.053	-0.007	-0.090	0.038	-0.088	0.021	0.841
13 保育士と看護師は、子どもの様子や関わり等について情報共有している	0.892	0.080	-0.065	0.006	0.091	-0.101	0.033	0.742
15 保育士と看護師は、子どもへの関わりの方向性をひとつにしている	0.839	0.068	0.000	-0.019	-0.008	-0.030	-0.017	0.737
22 入院中の子どもの遊びについて保育士と看護師の共通認識ができている	0.690	-0.027	0.038	0.037	-0.065	0.215	-0.024	0.663
21 保育士と看護師は、病棟の安全な環境作りと一緒に取り組んでいる	0.618	-0.007	-0.017	-0.005	0.006	0.296	-0.053	0.563
33 働いている病棟での保育士・看護師の協働はうまくいっている	0.448	-0.166	0.181	0.208	-0.095	-0.019	-0.119	0.599
24 保育士と看護師の間で、考えの不一致が生じた時は調整し解決できる	0.405	-0.060	-0.073	0.225	0.028	0.033	0.022	0.423
<F2 保育士のカンファレンスの積極参加> $\alpha=0.814***$								
4 保育士は病棟カンファレンスに参加している	0.089	0.828	-0.005	-0.004	-0.050	-0.043	0.030	0.680
5 保育士は病棟カンファレンスで保育士視点の意見を述べている	0.182	0.731	-0.013	-0.039	0.026	0.001	-0.005	0.668
6 保育士は多職種カンファレンスに参加している	-0.104	0.703	0.154	0.116	-0.041	-0.043	-0.024	0.623
3 保育士は看護師の申し送りに参加している	-0.093	0.437	0.001	0.142	0.084	0.105	-0.023	0.272
<F3 積極的な多職種連携> $\alpha=0.791***$								
7 保育士は疾患・治療に関する病棟の勉強会に参加している	0.018	0.123	0.821	-0.058	-0.082	-0.129	-0.065	0.605
10 保育士は病棟保育の学習会や学会に参加している	0.003	-0.017	0.721	-0.031	0.118	-0.113	0.083	0.521
9 保育士は退院後の子どもの準備について看護師と調整している	0.031	0.136	0.512	-0.057	0.061	0.112	-0.057	0.482
8 保育士は在宅に向けた地域とのカンファレンスに参加している	-0.189	0.303	0.484	-0.013	-0.069	0.110	-0.068	0.464
16 看護師と保育士はプレパレーションの開発を一緒にしている	0.205	-0.013	0.441	-0.036	0.022	0.159	0.123	0.473
27 看護師は病棟保育に関する勉強会に参加している	-0.080	-0.052	0.385	0.179	0.199	0.158	-0.065	0.307
<F4 保育の尊重> $\alpha=0.823***$								
28 看護師は入院中の子どもの遊びの重要性や必要性を理解している	0.028	0.077	-0.093	0.844	0.044	-0.048	0.024	0.646
30 看護師は保育士の意見・思いを尊重している	0.178	-0.008	0.053	0.641	-0.072	-0.072	0.016	0.700
26 看護師は子どもの“普通の生活”を守ろうとしている	0.037	-0.014	-0.155	0.592	0.189	0.143	0.030	0.451
29 看護師は子どもが保育士と遊ぶ時間が確保できるよう調整している	0.097	0.127	0.019	0.522	-0.035	-0.049	0.055	0.408
31 看護師は保育士のよき相談相手になっている	0.311	-0.020	0.223	0.412	-0.111	-0.005	-0.025	0.546
<F5 保育士のカルテ活用> $\alpha=0.859***$								
25 看護師は保育士の記入したカルテを閲覧している	-0.029	-0.011	-0.016	0.076	0.891	0.065	-0.037	0.778
2 保育士は(医師・看護師と同じ)カルテに記入している	-0.032	0.022	-0.010	0.072	0.889	-0.048	-0.039	0.807
1 保育士は医師・看護師のカルテを閲覧している	0.114	-0.049	0.226	-0.062	0.627	-0.151	-0.005	0.516
<F6 行事・環境づくり> $\alpha=0.753***$								
20 保育士と看護師は、病棟行事と一緒に取り組んでいる	0.127	0.122	-0.158	0.028	-0.051	0.794	-0.021	0.673
19 保育士と看護師は、病棟の季節感のある環境作りを一緒に行っている	-0.016	-0.121	0.148	-0.032	-0.039	0.739	0.062	0.626
<F7 プレパレーションのさらなる相互参画の必要性> $\alpha=0.681***$								
18 看護師はもっとプレパレーションに関わる必要がある	-0.002	0.024	-0.092	0.007	-0.045	0.035	0.764	0.562
17 保育士はもっとプレパレーションに関わる必要がある	-0.045	-0.044	0.144	0.092	-0.051	0.008	0.729	0.605
12 保育士は、処置時のディストラクション以外の固定や抑制は行わない	-0.026	0.102	-0.085	-0.017	0.160	-0.041	0.098	0.147
11 保育士は保育方針・保育計画を立案し、実践・評価を発信している	0.092	0.072	0.342	-0.216	0.144	0.128	0.073	0.405
32 看護師は保育士に看護業務の手伝いを依頼することがある	0.185	-0.197	0.348	0.020	0.025	-0.040	0.083	0.140
23 保育士と看護師で考え方の不一致が生じることがある	-0.096	0.170	0.122	0.020	0.096	0.027	0.121	0.346
因子寄与	8.687	3.485	1.537	1.338	0.964	0.894	0.610	18.019
因子寄与率(%)	26.3	10.6	4.7	4.1	2.9	2.7	1.8	
累積寄与率(%)	26.3	36.9	41.5	45.6	48.5	51.2	53.1	
因子間相関行列								
因子名	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	
F1 子どもへの関わりの意思統一	1.000	0.310	0.511	0.602	0.008	0.534	0.020	
F2 保育士のカンファの積極参加		1.000	0.557	0.180	0.436	0.148	-0.005	
F3 積極的な多職種連携			1.000	0.320	0.328	0.422	0.042	
F4 保育の尊重				1.000	0.110	0.471	0.047	
F5 保育士のカルテ活用					1.000	-0.060	0.059	
F6 行事・環境づくり						1.000	0.047	
F7 プレパレーションのさらなる相互参画の必要性							1.000	

※ 協働の現状についての質問33項目に対して、主因子法・プロマックス斜交回転による因子分析により7因子を抽出

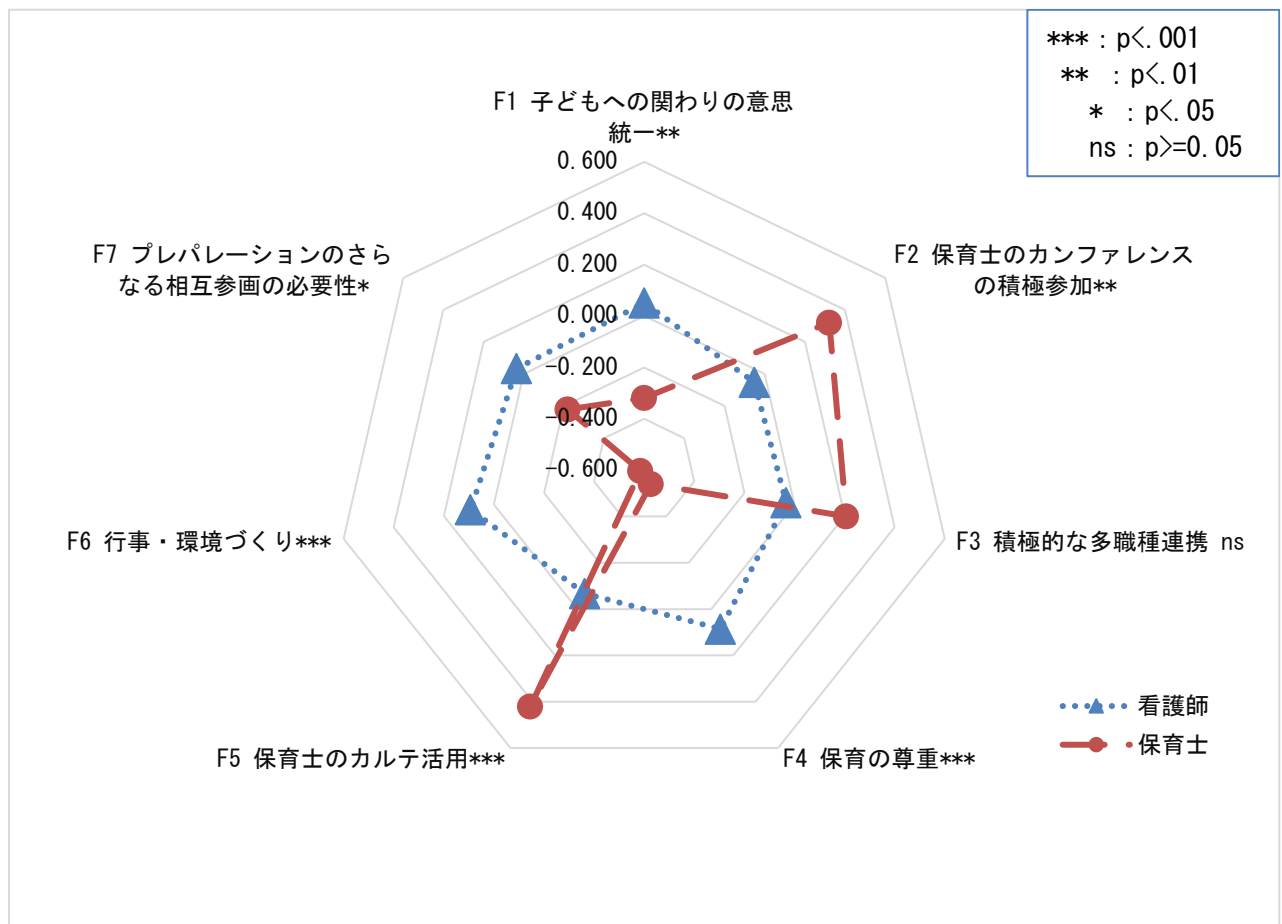


図1. 因子得点に基づく看護師の保育士との協働に関する認識の差（対応のないt検定）

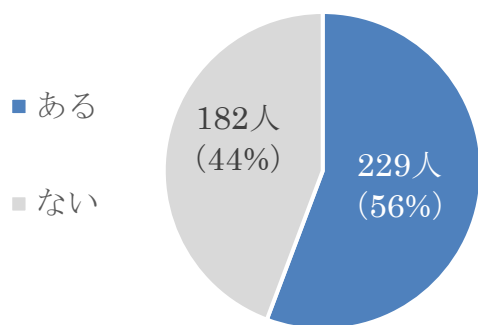


図2. 看護師の保育士との協働に関する困難の有無

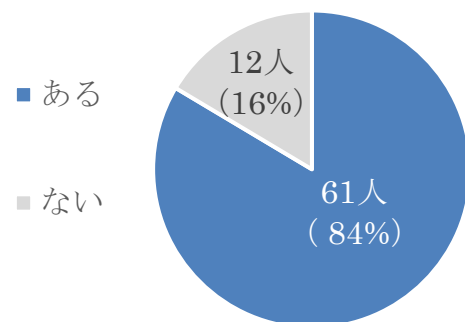


図3. 保育士の看護師との協働に関する困難の有無

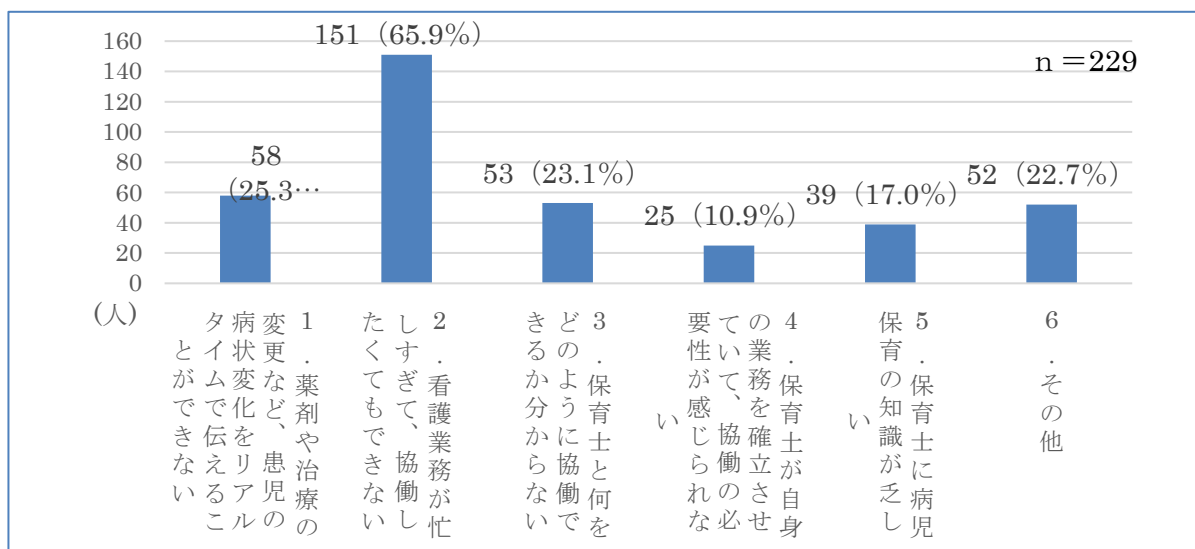


図4. 看護師の協働に関する困難の内容(複数回答)

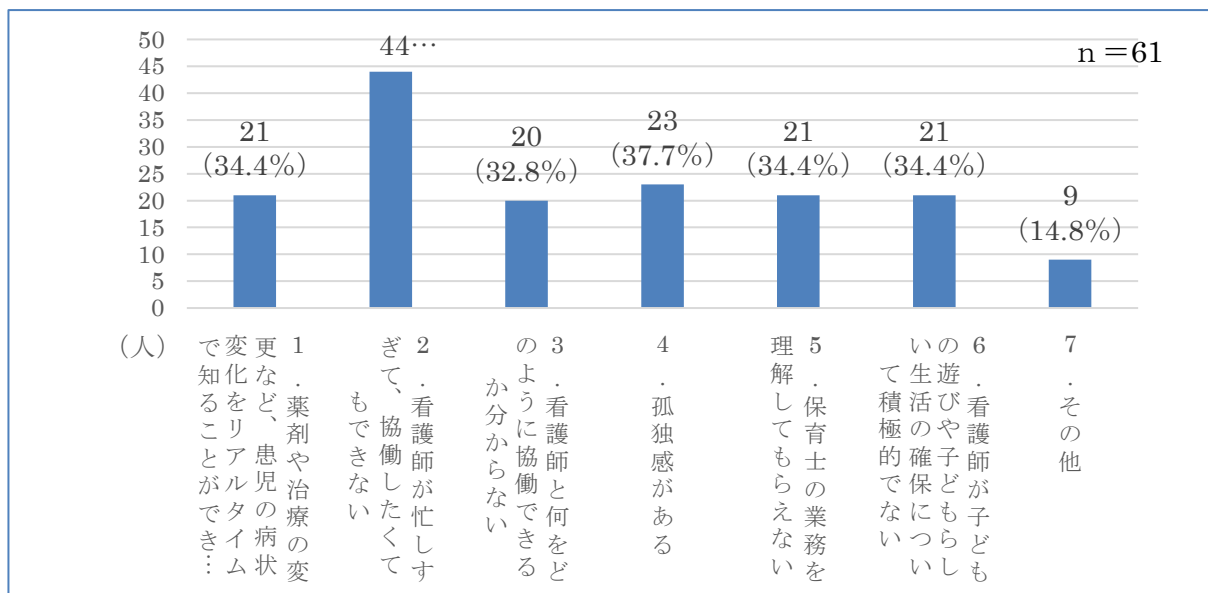


図5. 保育士の協働に関する困難の内容(複数回答)

③ 新型コロナウイルス感染症流行下における看護師と保育士の協働に関わる困難感

本研究は、コロナ禍の様々な制限を余儀なくされた現場において、子どもたちの子どもらしい生活を守るための困難さを明らかにすることが目的である。

結果、コロナ禍に伴う小児病棟における困難感のカテゴリー分類では、「面会」に関する記載内容が最も多く、次いで順に「制限」「プレイルーム」「こども・患児」「できない」「家族・きょうだい」「つきそい」「イベント・行事」に関する内容の記載が多かった（表5）。また、最も出現頻度が高かった「面会」は「制限」と最も結びつきが強く、その他「家族・きょうだい」「つきそい」と結びつきが強く、「制限」は「面会」「プレイルーム」また、「同士」「あそび」「さみしさ」との結びつきも示された（図6）。

表5. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う小児病棟における困難感カテゴリーのクロス集計

N = 330 (看護師265・保育士65)

	看護師		保育士		合計	
カテゴリー						
あそび	5	(1.9)	6	(9.2)	11	(3.3)
イベント・行事	28	(10.6)	12	(18.5)	40	(12.1)
おもちゃ	21	(7.9)	4	(6.2)	25	(7.6)
こども・患児	65	(24.5)	20	(30.8)	85	(25.8)
コロナ禍	15	(5.7)	11	(16.9)	26	(7.9)
さみしさ	7	(2.6)	1	(1.5)	8	(2.4)
ストレス	28	(10.6)	6	(9.2)	34	(10.3)
つきそい	46	(17.4)	10	(15.4)	56	(17.0)
できない	59	(22.3)	9	(13.8)	68	(20.6)
プレイルーム	74	(27.9)	18	(27.7)	92	(27.9)
家族・きょうだい	58	(21.9)	9	(13.8)	67	(20.3)
感染予防	19	(7.2)	9	(13.8)	28	(8.5)
制限	95	(35.8)	20	(30.8)	115	(34.8)
同士	11	(4.2)	5	(7.7)	16	(4.8)
病室	10	(3.8)	3	(4.6)	13	(3.9)
面会	114	(43.0)	12	(18.5)	126	(38.2)
合計	655		155		810	

表内の数値は件数(%)

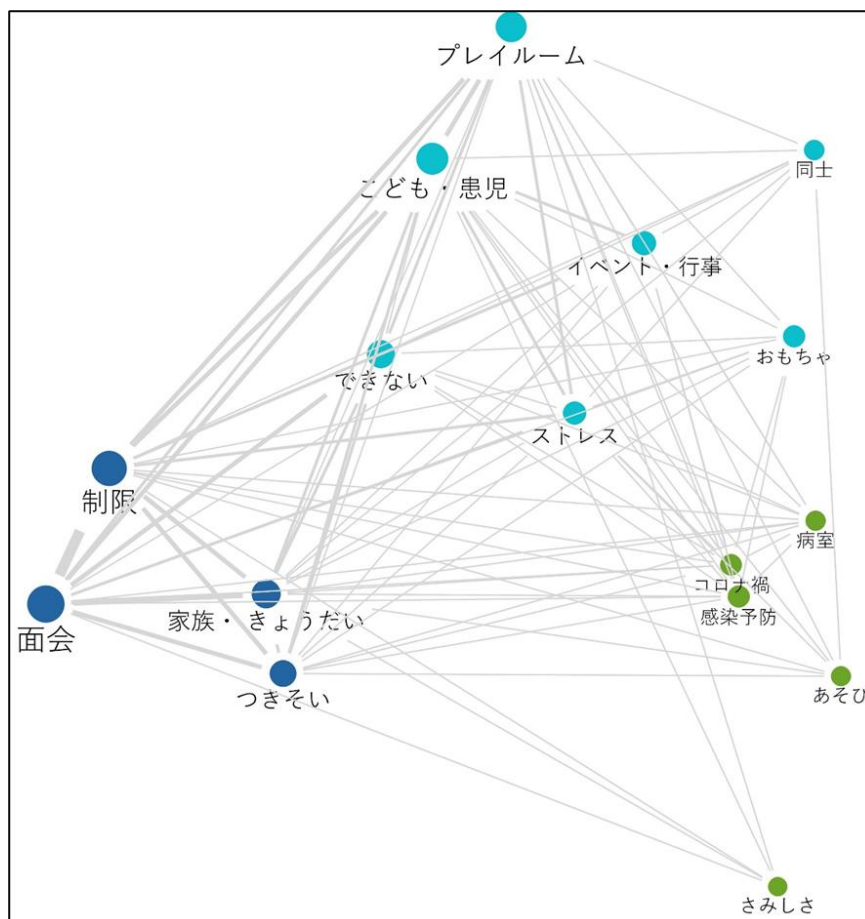


図6. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う小児病棟における困難感カテゴリー間の関係性

主な困難感、面会や付き添い制限/禁止により、子どもが一人病院で生活し、寂しさやストレスを感じているということに対する苦しさ、プレイルームの使用禁止/制限で、遊ぶ時間や子ども同士の関わりの減少により、子どもの遊びの保障や成長発達の促進の機会を奪うことへの申し訳なさであった。2022年に入り、新型コロナウイルス感染による行動制限が徐々に解除され、通常の日常生活が戻りつつあるが、2021年頃より子どもへの感染例も数多く報告され始め、今なお面会等の制限が継続している。また、小児医療に関わる多くの専門職が感染者や濃厚接触者となり医療が逼迫し、時間をかけて子どもたちと関わるができなくなるなど、小児病棟における子どもの療養生活は、「病院の子ども憲章」や「子どもの権利条約」が推奨する内容とは、まだかけ離れている。

一方で、看護師や保育士は、お互いの専門性を活かしながら、コロナ禍においても子どもらしい生活を守るため、看護師は面会制限下でさみしい思いをしている子どもの側に寄り添い支え、保育士は制限下でも楽しく遊べる工夫や子ども同士で関わるができる方法を日々模索し工夫していた。

さらに、付き添いや面会制限でストレスを抱えている家族への支援も試みており、コロナ禍での制限に苦しみながらも感染対策を講じ、子どもの権利を擁護するための支援および家族支援を行っていた。

これら制限下での支援経験が、今後起こりうる新興感染症パンデミック時における子どもの入院生活への支援に活かされると考えられる。

(2) 入院中の子どもの権利と家族のQOLに関する課題

入院中の子どもと保護者の入院環境の実態について把握するため、入院経験のある子どもの保護者2名へのインタビュー調査を行った。インタビューによる具体的な回答内容から、4つのカテゴリー【付き添い家族の院内生活と影響】【入院中の子どもの生活と影響】【家族や周囲への影響】【病院への苦情・要望の関連によるストレス】を見出すことができた。入院中の子どもは極端に制限のある生活により子どもの権利擁護の面で課題が大きいことが示唆され、付き添い家族にとっても心身にストレスのかかる大きな負担が生じていることが明らかとなった。子どもの育つ権利に大きく関連している課題が多いことに加え、「病院のこども憲章」（ヨーロッパ12ヶ国の病気のこどもの福祉に関わる団体による共同採択）に即していない状況が明らかとなった。

(3) 本学看護学部と人間社会学部こどもコースの学生の共同実践

専門職連携教育における看護と保育の協働・連携の取り組みとして、2023年1月より幼児期の子どもたちへの医療・保健に関わる絵本制作プロジェクトをスタートした。スケジュールの概要は、下記の通りである。

【スケジュール】

2022年11月末：参加者募集(有償)

12月：メンバー決定

2023年 1月～：メンバー11名が2グループに分かれて活動開始

3月：福岡市立こども病院訪問

(病棟の子どもの生活を理解し、保育士より絵本製作について助言をいただく)

4月～：制作継続。試作の発表会を複数回行い、討議・修正。試作完成段階で、子ども病院の小児科医のコメントを頂き、さらに検討を重ね、修正・校正を繰り返した。

2024年 3月：絵本完成

医療施設、幼稚園・保育園等で使用できる健康に関する内容をテーマとし、看護学部1～2年生、こどもコース2～3年(2023年度当時)の合計11名が2チームに分かれ、月に2～3回の討議や共同作業を行った。

制作にあたっては、まず図書館や教員所有の健康や医療・保健に関する絵本・紙芝居に目を通し、臨床で使用する場合の使いにくさや対象年齢などの課題を皆で検討した。その上で、臨床現場のニーズに応えられる、新しく、有用なテーマや内容を皆で考え、看護学生が医療や保健的内容を、こどもコース学生が幼児にあった言語表現や絵本作成を担うなど、それぞれの強みと専門性を発揮し、健康教育ツールを共同制作した。

2チームはそれぞれ、下記のテーマを設定し、制作を行った。

【ピーマンマンチーム】(看護3年・こども4年のチーム)

・I型糖尿病(幼児前期向け)：インスリン注射の理由と、守ってほしい事を分かりやすく説明

【ノタンチーム】(看護2年・こども3年のチーム)

・MRI検査(幼児後期向け)：どんな検査か、検査中はどうなるのかななどを分かりやすく説明

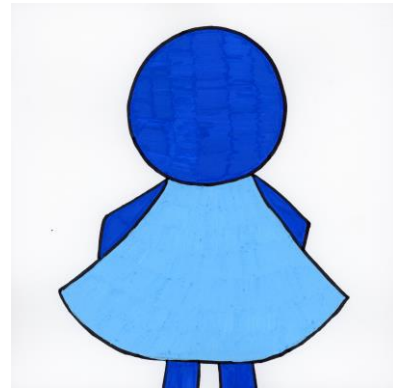
・持続点滴(幼児後期向け)：点滴の役割、約束してほしいことなどを分かりやすく説明

プロジェクトスタート時点では、子どもの疾患や検査・処置に関わる4つのテーマについて検討していたが、学生・教員で検討した結果、今回レントゲン検査の絵本作成は見送り、内容はI型糖尿病、MRI検査、点滴に関する3つのテーマとした。フォントは弱視の子どもも読みやすいよう開発された「UDデジタル教科書体」を用いた。以下に、絵本作成の意図と内容について示す。

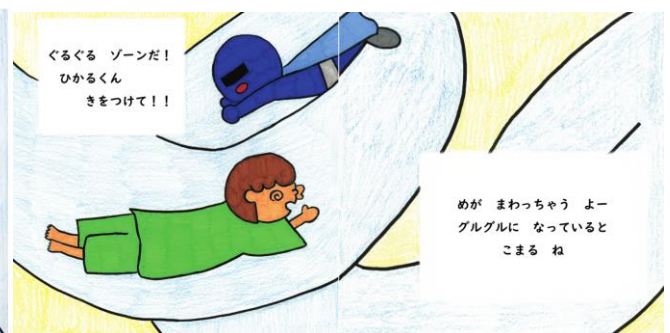
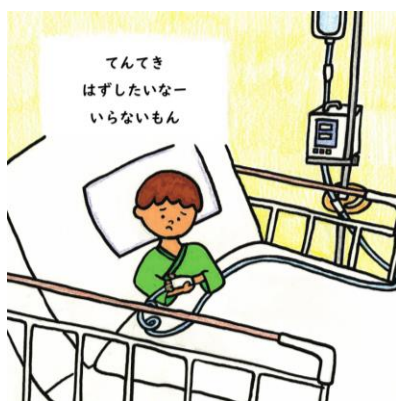
【がんばれ！！てんてきマン】全25ページ

- ・対象は幼児（3・4歳～）。
- ・治療のための点滴管理の重要性は高いが、子どもにとっては非日常であり、不快で、できれば早くなくなってほしいもの。
- ・子どもの認知力では重要性の理解が十分できず、外そうとしたり、踏んでしまうこともある。
- ・そのため、子どもの発達段階の特徴（アニミズム）を活かし、点滴マンというヒーローを用いて、ストーリーを展開。

《表表紙と裏表紙》



《内容の概要》

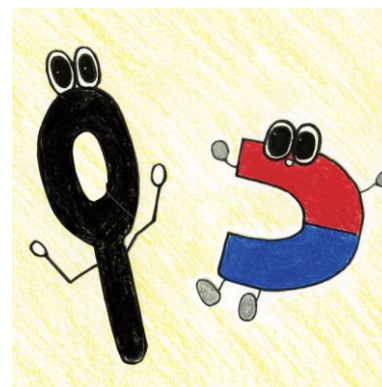




【MRIってなあに?】全45ページ

- ・対象は幼児後期以降（5歳以上）。
- ・MRI検査では、強力な磁力が発生するため、検査室入室時の注意点がある。
- ・検査中は動かずじっとしておく必要があるが、20～30分と時間も長く、また工事現場のような大きな音が継続するため、子どもにとってはとても負担が大きい（じっと出来ない場合は、鎮静剤を使用して検査する場合もある）。鎮静をせずにMRI検査を頑張る子どものために、絵本を作成。

《内容の概要》



このこは ひかるちゃん。

きょうは はじめての
MRI (えむ あーる あい) の
けんさを します。

なんだか とっても ふあんなようす。



MRI (えむ あーる あい) の おへやは
とくべつな じしゃくの ちからで
けんさを するので
きんぞくを もって はいれません。



きんぞくのものはきちんと
はづせているかな？
たしかめて みよう。



ボタン や チャックが
ついている おようふくも
けんさの じゃまになるので
けんさのための おようふくに
きがえます。



いよいよ けんさが はじまります。
 きかいの なかは おおきな おとが していて
 ひかるちゃんは こわくなって
 ぎゅっと めを つぶって しまいました。



つぎに めを あけたときには
おにいさんが いました。
どうやら ひかるちゃんは
ゆめを みていたようです。



おおきな おとが するので
おにいさんが ヘッドホン を
つけてくれました。



けんさの あいだに うごいてしまうと
きれいに しゃしんが とれないので
ベッドで じっと しておきましょう。

あんぜんの ために
ベルトを つけます。



まぶしい ひかりに つつまれて
ひかるちゃんが ゆっくりと めを ひらくと

そこには
 そら いっぱいに ひろがる おほしさま。



こわかった けんさも
あつというまに おわりました。
ひかるちゃんは ゆめの なかでの
できごとを おにいさんに はなします。

けんさのまえの　こわかったきもちは
どこかへ　いってしまいました。

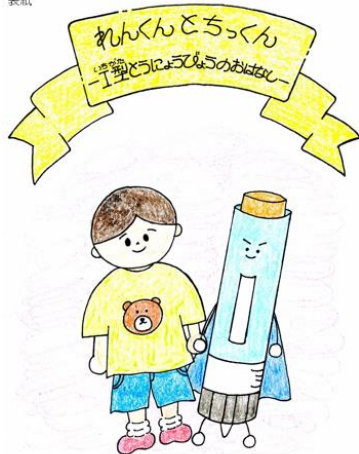


【れんくんとちっくん～Ⅰ型糖尿病のおはなし～】 全26ページ

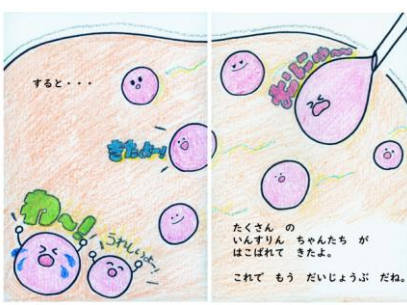
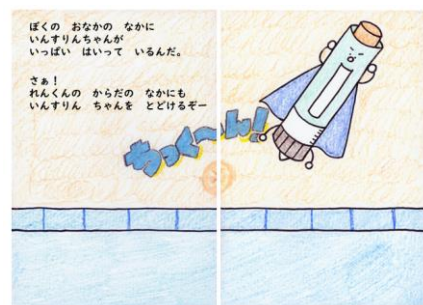
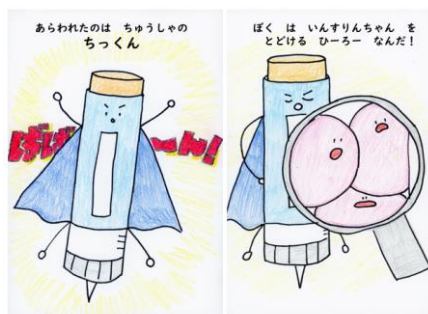
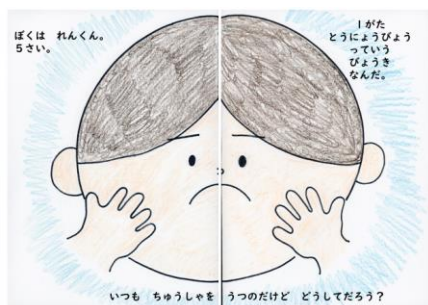
- ・対象は幼児後期以降（5歳以上）。
- ・Ⅰ型糖尿病は、膵臓のβ細胞の障害によりインスリンの枯渇が起こり高血糖となる病気。
- ・そのため、患児は毎日血糖測定とインスリン注射を行って食事をする必要がある。
- ・しかし、Ⅰ型糖尿病の子ども向け絵本は学童期向け以降が多く、幼児期向けの絵本が少ない。
- ・毎日インスリン注射を頑張る子どものために、インスリンを注射する理由と、そのあと食事をしっかり取る必要性について、分かりやすく絵本を作成。

《内容の概要》 この絵本は、まだ試作品の段階です（医療監修後、校閲予定）

表紙



裏表紙



【今後の予定】

- 1) 今回制作した絵本について、外国にルーツをもつ子どものための、多言語（英語版・中国語版・韓国語版など）を制作し、HP上で公開する。
- 2) 医療機関へ絵本を配布し、活用した看護師・保育士等に絵本の評価についてのアンケート調査を行う。その結果を元に、臨床とも協力し、内容等の再検討や新たな内容での絵本を制作する。
- 3) 本プロジェクトに参加した学生を対象に調査し、職種間の協働や連携がどのように経験や学びにつながるのかを検討し、結果を今後の専門職連携教育につなげる。

今後も臨床と協力しながら、保育・看護を学ぶ学生たちと制作活動を継続していく。

5. 主な発表論文等

- ・ 田中美樹・吉川未桜・吉田麻美・中原雄一・杉野寿子・池田孝博「入院中の子どもを支える保育士と看護師の専門性を活かした協働 第1報―業務内容の現状分析―」福岡県立大学看護学部紀要第20巻, 2023年3月
- ・ 吉川未桜・田中美樹・吉田麻美・中原雄一・杉野寿子・池田孝博「入院中の子どもを支える保育士と看護師の専門性を活かした協働 第2報―協働の現状と課題―」福岡県立大学看護学部紀要第20巻, 2023年3月
- ・ 田中美樹・吉川未桜・吉田麻美・杉野寿子・中原雄一・池田孝博「新型コロナウイルス感染症拡大による入院中の子どもを支える上での看護師と保育士の困難感」福岡県立大学人間社会学部紀要第31巻2号, 2023年3月
- ・ 杉野寿子・吉川未桜・田中美樹・吉田麻美・池田孝博・中原雄一「入院中の子どもの権利と家族のQOLに関する課題」福岡県立大学人間社会学部紀要第31巻第1号, 2022年10月

6. その他の研究費の獲得

特になし。